

【表紙】

【提出書類】	臨時報告書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成29年4月11日
【会社名】	株式会社ファステップス
【英訳名】	Fasteps Co.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役 高橋秀行
【本店の所在の場所】	東京都新宿区四谷四丁目32番4号
【電話番号】	03(5360)8998(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役管理部長 村山 雅経
【最寄りの連絡場所】	東京都新宿区四谷四丁目32番4号
【電話番号】	03(5360)8998(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役管理部長 村山 雅経
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1【提出理由】

連結会社の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に著しい影響を与える事象が発生したため、金融商品取引法第24条の5第4項及び企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第12号及び第19号の規定に基づき、臨時報告書を提出するものであります。

2【報告内容】

(1) 当該事象の発生年月日

平成29年4月10日（取締役会決議日）

(2) 当該事象の内容

貸倒引当金繰入額の計上

当社グループ全体で売掛債権の見直しを行い、回収可能性に懸念が生じた65百万円を貸倒引当金繰入額として販売費及び一般管理費に計上いたしました。

固定資産等の減損損失の計上

当社および当社の連結子会社であります株式会社ピーアール・ライフにおいて、利益率の高い案件の受注拡大に注力して参りましたが、既存顧客からの受注数減少、少額案件の集中により、売上高が当初の予想より下回る状況となりました。今後の事業環境や現在の状況を踏まえ、将来計画を勘案した結果、「固定資産の減損会計に係る会計基準」に基づき、当社の事業用資産について個別決算において減損損失16百万円、連結決算において105百万円を特別損失として計上いたしました。

のれんの減損損失の計上

当社の連結子会社でありますエムアンドケイ株式会社におきまして、直近の業績見込み並びに来期の事業計画等を勘案した結果、当初の利益計画には及ばないことが明らかになったため、連結決算において104百万円を減損損失として、特別損失に計上いたしました。

なお、この減損処理により、平成30年2月期ののれん償却額は85百万円から73百万円に軽減する見込みとなります。

子会社株式評価損の計上

当社の連結子会社であります株式会社ピーアール・ライフ及びエムアンドケイ株式会社について、同社の事業環境及び今後の見通しを勘案し、個別決算において子会社株式評価損637百万円を特別損失として計上いたしました。

なお、上記子会社株式評価損は、連結決算においては消去されるため、連結業績に与える影響はありません。

(3) 当該事象の損益に与える影響額

当該事象の発生により、平成29年2月期において、下記のとおり販売費及び一般管理費、特別損失として計上いたしました。

《個別》

固定資産等の減損損失	16百万円
子会社株式評価損	637百万円

《連結》

貸倒引当金繰入額	65百万円
固定資産等の減損損失	105百万円
のれんの減損損失	104百万円